

支部 *Newsletter*

北海道支部

◎道南ブロック企画事業(報告)

6月11日(土)、平成28年度函館英語英文学会主催の研究発表と公開シンポジウム「小中高大連携を目指す英語教育実践と多言語・多文化共生教育への可能性」が、北海道教育大学函館校で開催され、本支部道南ブロックは共催を務めました。

◎道央ブロック企画事業(報告)

7月31日(日)、本支部道央ブロックと北海道大学総合博物館が主催する「北大総合博物館・日本英文学会北海道支部ジョイント企画／博物館オープン記念事業 シェイクスピア、ポプラチェンバロと出会う～レクチャー付きコンサート：王政復古期のシェイクスピアとその音楽～」が、北海道大学総合博物館で開催されました。札幌市と札幌市教育委員会からは後援をいただきました。

◎第61回大会の開催(報告)

10月29日(土)、本支部第61回大会が、道北ブロックの北海道教育大学旭川校において開催されました。参加者は約45名。今大会は、3件の研究発表と2件の招聘発表(「ユダヤ商人バラスが奨める「マカバイ記」：わずか一言から『マルタ島のユダヤ人』の中で迎れること(竹本幸博氏)」と「北海道方言「ラサル」の上昇動詞分析一再構成による統一のアプローチ(大野公裕氏)」)をはじめとして、語学部門セミナー「Free Merge and “Optional Operations”: A Preliminary Note」、文学部門シンポジウム「多面体としてのシェイクスピア」、語学部門シンポジウム「英語の変化と生成文法理論」が行われ、充実したプログラムとなりました。北海道教育大学旭川校からは後援をいただきました。

◎拡大理事会および総会について(報告)

支部大会当日に開催された拡大理事会では、議題5点と報告4点がありました。支部の活動方針や会計状況等について議論・承認された後、2017年度の支部大会開催校が提案され、承認されました。また、総会では、活動報告、

決算報告、次年度支部大会開催校の報告がなされました。

◎支部理事選挙について(報告)

10月、次期支部理事選挙で10名の候補者が選出されました。その後、支部規約(第8章)に則り2名を追加し、計12名が承認されました。選挙管理委員は濱田英人氏(札幌大学)と渡部あさみ氏(同)が務めました。

◎新支部体制について(報告)

12月、支部規約(第5、6、7、8、10、15章)に則り、新しく選出された理事による新理事会での審議を経て、新支部体制は、以下のよう承認されました。(敬称略、五十音順)

支部長・本部理事：瀬名波栄潤(北海道大学)

副支部長：上野誠治(北海学園大学)

副支部長・本部評議員：本堂知彦(北海道教育大学札幌校)

理事：上野誠治、上山恭男(北海道教育大学函館校)、奥聡(北海道大学)、小古間甚一(名寄市立大学)、瀬名波栄潤、高橋英光(北海道大学)、竹内康浩(北海道大学)、十枝内康隆(北海道教育大学旭川校)、野村益寛(北海道大学)、濱田英人(札幌大学)、藤田佳也(酪農学園大学)、本堂知彦

会計監査委員：渡部あさみ(札幌大学)

事務局長：金井彩香(千歳科学技術大学)

事務局長補佐：斎藤彩世(北星学園大学)、菅原崇(岐阜工業高等専門学校)

また、本部監事には星野立子氏(北海道教育大学函館校)を候補者として推薦することになりました。運営委員会の構成については、支部ホームページにて別途ご案内致します。

◎道東ブロック企画事業(報告)

2017年1月21日(土)、本支部道東ブロックが主催する「ロマン主義時代のイギリスとイタリア・オペラ～ウォルター・スコットとガエターノ・ドニゼッティ～」が北海道教育大学釧路校で開催されました。共催は北海道教育大学釧路校、後援は釧路市教育委員会からいただきました。

◎『北海道英語英文学』第62号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第62号に掲載する原稿を募集しています。締切は2017年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第61号(『英文学研究 支部統合号』第9巻)の巻末または支部ホームページをご覧ください。

◎第62回支部大会について

2017年度支部大会は、道央ブロックの北海学園大学(札幌市)での開催に決定しました。日程は確定し次第、支部ホームページにてご案内致します。

◎2017年度の事務局について

2017年度の事務局は以下の通りです。

〒066-8655 千歳市美々758番地65
千歳科学技術大学 理工学部 金井彩香研究室内
[TEL/FAX] 0123-27-6026
[メールアドレス] hokkaido@elsj.org
[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

◎会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願いいたします。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

東北支部

◎第71回支部大会開催報告

第71回東北支部大会が、2016年11月19日(土)・20日(日)の両日に、秋田英語英文学会との共催で、秋田カレッジプラザで開催されました。のべ参加人数は、二日間で約120名でした。詳細は、東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)からご覧いただけます。

◎支部役員選出

支部役員選挙結果にしたがって、次期理事が選出されました。新支部長は大河内昌(東北大学)、新副支部長は佐々木和貴(秋田大学)がとめます。詳細は東北支部ホームページをご覧ください。事務局は宮城教育大学に置かれ、事務局長を竹森徹士(宮城教育大学)、事務局長補佐を島越郎(東北大学)がとめます。

◎東北支部研究振興事業の規程改訂

「若手研究者のためのトラベルグラント」について、シンポジウム講師についても助成すること、新幹線・航空機のチケットとホテル代金がセットになったバック料金が往復の正規交通料金より安い場合には宿泊費込みで助成することとなり、規程の文言が修正されました。

◎『東北英文学研究』第7号発行および第8号原稿募集

『東北英文学研究』第7号が『英文学研究 支部統合号』第9号に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第8号の原稿を募集しています。締切は2017年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧ください。事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

関東支部

◎理事会報告

2016年11月12日(土)に、フェリス女学院大学緑園キャンパスにおいて2016年度第2回理事会が開催され、以下の事項が報告、審議されました。

【議事録承認】

【報告事項】

1. 大会準備委員会報告

(1) 任期満了の委員と後任の委員について

【任期満了の委員】(50音順、敬称略)

大山健一(首都大学東京)、小川公代(上智大学)、小林愛明(静岡英和学院大学)、佐藤達郎(日本女子大学)、辻秀雄(首都大学東京)

【後任の委員】(50音順、敬称略、任期は3年、

- 土井良子委員のみ任期2年)
土井良子(白百合女子大学)、冬木ひろみ(早稲田大学)、牧野理英(日本大学)、横本勝也(立教大学)、吉田要(首都大学東京)
- (2) 2017年度大会準備委員会について
大会準備委員長 富樫剛(フェリス女学院大学)
- (3) 来年度大会について
夏季大会は6月17日(土)に明治学院大学(キャンパス未定)で、秋季大会は10月後半から11月前半にかけて中央大学(キャンパス未定)で、開催する。

2. 編集委員会報告

- (1) 『関東英文学研究』第9号(2016年号)掲載論文について
- (2) 任期満了の委員と後任の委員について
【任期満了の委員】(50音順、敬称略)
上原正博(専修大学)、奥聡一郎(関東学院大学)、高木眞佐子(杏林大学)、伊達直之(青山学院大学)、谷岡健彦(東京工業大学)、永野良博(上智短期大学)
【後任の委員】(50音順、敬称略、任期は3年)
井口篤(慶應義塾大学)、近藤弘幸(東京学芸大学)、斎木郁乃(東京学芸大学)、佐藤和哉(日本女子大学)、高岸冬詩(首都大学東京)、波戸岡景太(明治大学)
- (3) 2017年度編集委員会について
編集委員長 佐久間みかよ(和洋女子大学)
副編集委員長 中野学而(中央大学)、中和彩子(法政大学)、深谷素子(鶴見大学)

3. 支部長報告

- (1) 理事選挙について

4. その他

【審議事項】

1. 理事選挙開票結果報告、および理事会推薦による新理事の選任について
2016年10月19日締切にて役員選挙が行われ、下記の通り10名が選出された。
阿部公彦、遠藤不比人、大石和欣、河野真太郎、後藤和彦、斎藤兆史、秦邦生、中井

亜佐子、原田範行、武藤浩史(50音順、敬称略)

2. 新旧合同理事会の開催について
3. 2018年度日本英文学会全国大会(関東支部担当)大会開催校について
関東支部が担当する2018年度日本英文学会全国大会は、東京女子大学で開催する。
4. 関東支部の宿泊規定について
5. その他

◎2017-2018年度日本英文学会関東支部役員選挙結果報告

2016年10月19日締切にて、2017-2018年度日本英文学会関東支部役員選挙が行われました。結果を下記のとおり報告いたします。

【選挙選出理事10名】(50音順、敬称略)

阿部公彦(東京大学)、遠藤不比人(成蹊大学)、大石和欣(東京大学)、河野真太郎(一橋大学)、後藤和彦(立教大学)、斎藤兆史(東京大学)、秦邦生(青山学院大学)、中井亜佐子(一橋大学)、原田範行(東京女子大学)、武藤浩史(慶應義塾大学)

【理事会選出理事9名】(50音順、敬称略)

大串尚代(慶應義塾大学)、奥聡一郎(関東学院大学)、越智博美(一橋大学)、唐澤一友(駒澤大学)、佐久間みかよ(和洋女子大学)、富樫剛(フェリス女学院大学)、新田啓子(立教大学)、守屋靖代(国際基督教大学)、若林麻希子(青山学院大学)

【2017年度日本英文学会関東支部】

支部長	阿部公彦(東京大学)
副支部長	奥聡一郎(関東学院大学)
本部理事候補	阿部公彦(東京大学)、原田範行(東京女子大学)
監事	斎藤兆史(東京大学)
評議員	後藤和彦(立教大学)
事務局長	武田将明(東京大学)

◎『関東英文学研究』第10号について

『関東英文学研究』第10号の原稿を2017年5月15日締切で募集いたします。募集要項の詳細につきましては、日本英文学会関東支部のホームページ、および『関東英文学研究』第9号の巻末をご覧ください。多数の応募をお待ちしております。

◎関東支部第14回大会(2017年度夏季大会)について

関東支部第14回大会(2017年度夏季大会)は、2017年6月17日(土)に、明治学院大学(キャンパス未定)で開催される予定です。予定されているシンポジウムは下記のとおりです。

「文学・文化・言語学をつなぐ教育の可能性(仮)」

司会・講師 倉林秀男(杏林大学)

講師 河田英介(筑波大学)、山本裕子(千葉大学)、原田範行(東京女子大学)

「モダニズム期とポストモダニズム期の作家を対象としたヘリテージ映画論(仮)」

講師 丹治愛(法政大学)、小山太一(専修大学)、岩崎雅之(早稲田大学・非)

研究発表の応募締切は2017年3月31日です。詳細については日本英文学会関東支部のホームページをご覧ください。多数の応募をお待ちしております。

以上(文責：松本 朗)

中部支部

◎第68回支部大会報告

2016年10月15日に第68回支部大会が富山大学五福キャンパスにて開催されました。当日は好天に恵まれ、出席者はおよそ90名を数え、3件のシンポジウム、13件の研究発表が行われ、懇親会も盛況のうちに閉幕しました。大会の運営にご尽力いただいた開催校関係者の皆様、シンポジウム講師、発表者、司会者の皆様、当日参加された会員の皆様、協賛いただいた出版社

の皆様にはあらためてお礼申し上げます。

講師、発表者の方々には9月に刊行されますプロシーディングズへのご投稿の権利がございます。詳細につきましては4月初旬にご連絡の予定です。また、ご発表を元に論文に発展させ、『中部英文学』へのご投稿を検討していただければ、尚幸いです。

◎支部総会報告

支部大会に先立ち、当日支部総会が開催され、以下の議題が報告もしくは提案され、了承されました。なお、総会資料・議事録につきましては支部ウェブサイトに掲載されました。

1. この一年の活動報告
2. 前年度会計決算報告
3. 今年度予算案
4. 次年度以降事務局担当校ならびに支部大会開催校について
5. 次期理事選出にかかわる支部規約の改正について

◎理事選挙結果および新年度役員

2017年4月からの2年間を任期とする理事を選出するための事前の候補者推薦作業を経て、支部大会当日に理事候補者信任投票が行われました。その結果、次の10名の方々(敬称略)が理事に選出されました。上原早苗(名古屋大)、内田勝(岐阜大)、内田恵(静岡大)、大室剛志(名古屋大)、杉野健太郎(信州大)、滝川睦(名古屋大)、田中智之(名古屋大)、中川直志(中京大)、長畑明利(名古屋大)、吉田江依子(名古屋工大)

また、2017年度は引き続き現事務局が事務を担当することや地域のバランスを考慮し、支部規約21条に定める推薦理事は、上記当選者以外の旧理事(年齢制限該当者を除く)の留任をもって充てることになりました。

支部選出の本部役員は、評議員に滝川睦氏、代表理事に山本卓氏(金沢大)が推挙されました。

◎『中部英文学』第37号投稿募集

『中部英文学』第37号投稿の締切は4月10日(月)必着です。執筆ご希望の方は投稿規定を熟読・厳守の上、奮ってご応募ください。

◎第69回支部大会発表募集

第69回支部大会は10月28日(土)、福井大学文京キャンパスにて開催されます。研究発表応募締切は5月31日(水)必着です。発表ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。奮ってご応募ください。

◎第89回全国大会について

ご承知の通り、本年5月20、21日の本学会の全国大会は、静岡大(静岡市)にて開催されます。地元中部地区での開催でありますので、例年にも増していろいろな形でのご参加、ご支援をお願いいたします。なお詳細につきましては、プログラム本体をご覧ください。

◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は速やかにご連絡ください。郵便物や電子メールが届かないケースが起こっています。まだメールアドレスを登録されていない方はぜひご登録をお願いいたします。いずれの場合も、日本英文学会本部と中部支部の両事務局にお届けくださいますようお願いいたします。

以上(文責：丸山 修)

関西支部

◎関西支部第11回大会について

2016年12月17日(日)11:00より、関西支部第11回大会が神戸市外国語大学にて開催され、4件の招待発表を含む23件の研究発表と、英米文学および英語学のシンポジウムが行われました。天候にも恵まれて224名の参加者を数え、懇親会にも85名の出席者を得て盛会裏に終わりました。

大会準備にご尽力くださった学会関係者の皆様、および会場を提供くださった神戸市外国語大学関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

◎役員会および総会について

大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、支部長から支部理事選挙および支部長

選挙の結果についての説明、大会準備委員長と機関誌編集委員(病欠の委員長代理)からそれぞれ事業報告があったほか、会計報告案が承認され、第12回大会の開催校に京都女子大学が選出されました。また、総会では以上の件について報告がなされました。

◎次期支部長について

2016年9月から11月にかけて支部理事選挙を行いました。その結果、10名の次期支部理事が選ばれ、その10名の互選により次期支部長として新野緑氏が選出されました。

◎機関誌第11号の投稿について

『関西英文学研究』第11号の投稿締切は4月末日です。特にキャリアの浅い研究者による優れた論文には奨励賞が与えられますので、奮ってご投稿ください。

◎関西支部第12回大会の研究発表の応募について

関西支部第12回大会は、2017年12月下旬に京都女子大学で開催される予定です。研究発表の応募締切は7月上旬の予定です。奮ってご応募ください。

◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。

規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

中国四国支部

◎中国四国支部第69回大会報告

平成28年10月29日(土)、30日(日)の両日、愛媛大学(松山市)において中国四国支部第69回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。加藤好文

氏、辻祥子氏をはじめとする開催校の関係者および愛媛県の学会員の皆様にはたいへんお世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目(29日)は、高橋渡支部長による開会の辞をもって開会式が行われたあと、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は、英語学関係4編、イギリス文学関係7編、アメリカ文学関係3編、英語教育関係1編の計15編が行われました。また、高口圭轉氏(安田女子大学教授)「身体表現から見たDickensの言語と文体」(司会：広島大学教授 今林修氏)、富樫剛氏(フェリス女学院大学教授)「カルペ・ディエムの諸系譜—Andrew Marvell, “To His Coy Mistress”を読み直す—」(司会：関西学院大学准教授 竹山友子氏)、田中孝信氏(大阪市立大学教授)「トマス・バーク『ライムハウスの夜』—中国人移民と異人種混淆」(司会：広島大学教授 倉田賢一氏)の3編の招待発表が行われました。特別講演は、金原瑞人氏(翻訳家・法政大学教授)による「Don't Shoot the Translator」(司会：広島大学教授 新田玲子氏)がありました。特別講演の後、「いよてつ会館クリスタルホール」にて辻祥子氏の司会のもと、地元の酒肴に舌鼓を打ちながら、懇親会を催すことができました。幹事をお務めくださった加藤好文氏のご配慮により、会場でのカーブ観戦も実現し、多くの皆様が楽しまれました。多数のご参加、どうもありがとうございました。

第2日目(30日)は、山口大学教授の池園宏氏(司会・講師)の主導のもと、長柄裕美氏(鳥取大学准教授)、金子幸男氏(西南学院大学教授)、三村尚央氏(千葉工業大学准教授)によるシンポジウム「Kazuo Ishiguro 再考—さらなる解釈の可能性を求めて」がありました。そのあと、高橋渡支部長の閉会の辞をもちまして全日程を終了しました。

◎理事会報告

支部第69回大会に先立ち、10月29日午前中の理事会にて次の議題が審議されましたので報告いたします。

1. 会計報告および会計監査報告

鳥克也事務局長補佐が平成27年度決算報告(支部事務局と編集委員会)を行い、会計監査(水

野和穂氏、小野章氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。

2. 次期開催校

平成29年度の第70回大会は、10月28日(土)・29日(日)に、就実大学(開催校責任者：長瀬恵美氏)で開催されることが承認されました。

3. 支部大会開催県ローテーションについて

従来のローテーションに広島県開催を2回入れることにより、他県の開催校の負担を減らすことが承認されました。また、諸事情により他県で開催が難しい場合は代わりに広島で開催することも了承されました。新しいローテーションは、次のようになります：香川→広島→愛媛→岡山→鳥取→徳島→広島→高知→山口(香川に戻る)。

◎支部理事選挙の結果と新支部理事

支部理事選挙の結果、今林修、大地真介、大野英志、高橋渡、辻祥子、福元広二、前田一平、水野和穂、宮崎隆義、吉中孝志(敬称略・五十音順)の10名が新理事に選出されました。

理事会終了後、上記10名の新理事による新理事会を開き、「日本英文学会中国四国支部規約」第五条2項に則り、選挙によって選出された新支部理事により、委員会役職、地域性、性別、専攻分野などを配慮し、榎田一路、太田聡、小野章、高口圭轉、福安勝則、藤吉清次郎、松浦雄二、脇本恭子、渡部知美(敬称略・五十音順)が新理事に追加選出されました。

◎新支部理事会の報告と新支部体制

1. 新しく選出された理事による新理事会での合議を経て、吉中孝志氏(広島大学)が次期支部長に選出されました。

2. 支部規約に則り、次の役員が選出されました。(敬称略)

- ・副支部長：高口圭轉(安田女子大学)
- ・事務局長：榎田一路(広島大学)
- ・事務局長補佐：倉田賢一(広島大学)
- ・会計監査：水野和穂(広島修道大学)、福元広二(広島修道大学)
- ・学会誌編集委員長：中川 憲(安田女子大学：在任中)
- ・選挙管理委員長：小野章(広島大学)
- ・選挙管理委員：田多良俊樹(安田女子大

学)、西原貴之(広島大学)

3. 各県の推薦制代表者が選出されました(敬称略)。香川県は現在未定となっています。

- ・鳥取：福安勝則(鳥取大学)
- ・島根：松浦雄二(島根県立大学)
- ・岡山：脇本恭子(岡山大学)
- ・広島：今林 修(広島大学)
- ・山口：太田 聡(山口大学)
- ・徳島：宮崎隆義(徳島大学)
- ・高知：藤吉清次郎(高知大学)
- ・愛媛：辻 祥子(松山大学)
- ・香川：

◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

平成29年度の第70回大会は、10月28日(土)・29日(日)の両日、就実大学(岡山市)で開催いたします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(必着)です。たくさんのご応募お待ちしております。

◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第14号(英文学研究支部統合号第10号)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/phoenix/chusi-eng/studies.html>)をご覧ください。

以上(文責：高橋渡)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第69回大会が2016年10月22日(土)、23日(日)の両日に中村学園大学にて開催されました。大会の運営に多大のご支援をいただいた、山根一文、木原美樹子、池田祐子諸先生方を初めとする関係者、及び、学生の皆様に心よりお礼を申し上げます。

◎2016年度第2回支部編集委員会が2016年10月22日(土)に開催されました。その後、支部評議員会・理事会の合同会議が開かれました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。詳細な議事録は支部ホームページに掲載されています。

《編集委員会議事録》

1. 『九州英文学研究』第32号(支部統合号Vol. VIII)の刊行について
2. 『九州英文学研究』第33号(支部統合号Vol. IX)について
3. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について
 - ・福岡女子大学講師、石田由希氏の「隠す、鳴らす、繋げる：サラ・ケインの『クレンズド』における拷問者の描出法」に奨励賞を授与することが決定された。今回は優秀論文賞の該当はなかった。
4. 編集委員会規定について
5. 委員の交代について
 - ・米文学の小谷委員と英語学の向井委員より次期委員辞退の申し入れがあり、了承された。後任に関しては、各分野で候補者を検討し、委員会に諮ることとなった。
 - ・次期編集委員長に関しては、アメリカ文学より選出されることが確認された。
6. 「招待発表者」ならびに懲遷について
 - ・招待発表者については発表内容を確認の後、懲遷論文としての投稿を事務局より依頼する。
 - ・大会の一般発表者についても、編集委員より広く論文投稿を促すこととする。
7. 支部大会統合プロシーディングズについて

《評議員会・理事会議事録》

1. 活動報告
2. 会計報告
 - ・黒木事務局長より、平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)支部会計報告が行われ、監査の大橋 浩理事(九州大学教授)から確認の報告があった。
 - ・黒木事務局長より、平成28年度会計の中間報告、ならびに平成29年度予算案が提案され、承認された。
3. 統合号出版経費負担について
4. 編集委員会報告
 - ・上記の通り。
5. 評議員選出校について
 - ・西岡支部長より、3校の大学等の評議員が退職、候補者不在等の理由により次期評議員候補の選出が不可能である旨が報告さ

れ、それに伴い当該3校を評議員選出校から削除し、会員が複数名在籍している九州共立大学、九州女子大学、産業医科大学を評議員選出校として新たに追加することが提案され、承認された。今後、その他の評議員選出校ではない大学等についても、協議の上、来年度以降に追加していく方向となった。

6. 支部理事選挙について
7. 支部事務局の交替・新支部長の選出について
 - ・来年度の支部事務局は福岡大学に移り、新支部長として山田英二理事が選出された。
8. 支部選出本部理事・評議員の選出について
 - ・本部理事候補は、支部長の山田英二氏(福岡大学教授)に内定、本部評議員候補は、支部理事選挙の結果後に決めることとなった。
9. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について
 - ・全国大会は静岡大学、支部大会は長崎大学にて開催されることが報告された。

◎日本英文学会九州支部理事選挙規約に則り、支部理事選挙を実施した結果、以下の方々が選出されました。任期は、2017年4月1日～2019年3月31日までの2年間です。(敬称略・50音順)また、上記8の本部評議員候補には鶴田 学氏(福岡大学教授)が内定しました。

鵜飼 信光	高野 泰志	西岡 宣明
大島由紀子	高橋 勤	虹林 慶
大橋 浩	竹内 勝徳	早瀬 博範
木下 善貞	鶴田 学	福田 稔
小林 潤司	登田 龍彦	山田 英二

・九州支部ホームページ・アドレス

<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>

以上(文責：黒木隆善)